

沖縄県・国の泡瀬埋め立ての変更手続き書類への意見書

東京都在住 K・I

意見要旨：

私は東京都に暮らしていますが、泡瀬干潟を守る連絡会のホームページで、泡瀬埋め立て変更手続きの書類を見ました。6日まで「告知・縦覧」を行っていることも知り、意見書を送らせていただきます。

何よりも考えていただきたいのは、泡瀬埋め立てを中止することです。知人が沖縄市に住んでいる縁で、今年3月はじめに泡瀬を訪れました。静かに広がっている干潟と海と空、地平線に、あらためて、地球の上に生きているということを感じました。クビレミドロ、ウミエラなど、貴重な生物にもはじめて出会いました。泡瀬が世界的にも生物の宝庫であること、以前の埋め立てで悪化した環境が次第に回復の方向に向かっていることなど知人の話を聞き、この自然環境をなんとしても守りたいと思いました。それには、沖縄県と国が自然環境を破壊しない、させない、さらに豊かにしていくという立場にたってくださいることが一番の力です。どうか、お願いします。

また、今回の大震災から、何を学び、どう乗り越えていくのか、日本全国で前に向かおうとしているときだと思います。ところが、今回の変更手続きに関して、そういう面からの検討がなされていないように見えます。大震災後、計画の根本からの再検討がなされて当然だと思います。それを曖昧にしまっただけでは、自然環境が守れないだけでなく、命と暮らしも守れないと思います。命と暮らしを守ることこそ、国や自治体の一番大切な仕事ではないでしょうか。

どうか、泡瀬埋め立てを性急に進めず、立ち止まって、今何が大切か、考えてください。沖縄のみなさんの声はもちろん、国民の声をすくいあげてください。泡瀬のことを知ったら、埋め立て中止の声が大多数だと思います。取り返しのつかない埋め立てはやめてください。

以上